



昭和十三年十一月二十一日

時局特報

(第四十三號)

極秘

臺灣總督官房外務部

主要資料名略號

| | | |
|-------|-------------------------------------|-------------|
| | Canton Daily Sun. D. | C. D. S. |
| | China Weekly Review. W. | C. W. R. |
| | North China Daily News. D. | N. C. D. N. |
| | South China Morning Post. D. | S. C. M. P. |
| 支 那 | 新 聞 報、日、..... | 新聞報 |
| | 申 報、日、..... | 申報 |
| | 廣東七十二行商報、日、..... | 廣商報 |
| | 廣州共和報、日、..... | 廣和報 |
| | Manila Daily Bulletin. D. | M. D. B. |
| 比 律 賓 | Philippine Herald. D. | P. H. |
| | Tribune. D. | T. |
| | Opinion D. | O. |
| 印度支那 | Courrier d'Haiphong. D. | C. d. H. |
| | | |
| | Bangkok Times. D. | B. T. |
| 暹 羅 | Siam Chronicle. D. | S. C. |
| | | |
| | Singapore Free Press. D. | S. F. P. |
| 馬 來 | Straits Times. D. | S. T. |
| | | |
| | Bataviasch Nieuwsblad. D. | B. N. |
| 蘭領印度 | Soerabaiasch Handelsblad. D. | S. H. |
| | | |
| | Asie Française (Paris) M. | A. F. |
| | Economist (London) W. | E. |
| | France-Outre-Mer (Paris) | F. O. M. |
| 其 他 | London Times. W. | L. T. |
| | New York Times. D. | N. Y. T. |
| | Nieuw Rotterdamche Courant. D. | N. R. C. |
| | Statist. (London) W. | S. |
| | | |

(備 考) D.- Daily, W.- Weekly

日.- 日 刊

支

- 一、スビード・アツプ、香港！
- 二、日本の對フランス抗議は海南島占領の口實なり
- 三、蔣方震の日本論
- 四、日本が支那法幣の信用失墜を策動し白銀巨額の國外流出を宣傳する
- 五、支那國民黨の中央執行委員會「廣東全省の黨員に告ぐるの書」を發表
- 六、上海より四兩各省に輸送される貨物は概ね通路を閩浙兩省に改める
- 七、廣九鐵道が縱令遮断されても兵器彈藥の仕入先には心配がない

佛領印度支那

- 一、佛印經由に依る武器輸送徑路
- 二、佛印の支那援助

臺灣總督官房外事課

一、スピード・アツプ、香港

香港は今や水飢饉に苦んでゐる。九月二十五日以来水道供給は一日八時間に制限せられた。香港植民地は過去多年に亘り水の不足に悩まされた。しかる處多數上海の有閑、富裕支那人、支那人、及び貿易商の香港出張所に働く支那人の居住及び加之支那各地からの避難民殺到し多量の飲料水を消費する。貯水地を補給するためには多量の水を必要とするが故に香港の飲料水の供給は天與の賜である。二年以前「コロニヤ」貯水地の竣工したことは水飢饉難の終熄を劃するものであると稱せられた。然し問題は依然として急迫してゐる。近代的水道鉛管組織を裝備する多數新設家屋店舗は更に一層の飲料水を需要する。かかる新築家屋店舗は瀉水用としては水道管より引水する代りに井戸を掘鑿すべきであると考

臺灣總督官房外事課

へて居る。何故井戸がなほ多數に掘られなかつたか。理由は、満足なる説明はなされてゐない。更に海面地先に近接する家屋は便所用水として海水を使用すべきであらう。尤も鉛管中に多少の鹽を堆積させる結果を生ずるであらう。新しく貯水地が必要であるか或は他の水源が必要である。この問題は科學的に且つ適當に處理せられなければならぬ。

他の死活的な重要問題は空襲警報の問題である。本組織は數回の演習に拘はらず未だ完全でない。サイレンは唯市街地のある部分に於てのみ聞かれ得るが、一方郊外に於ては音は微に聞き得るに過ぎない。最初の二回の演習は全然失敗であつた。音響は低く蒸気ランチの汽笛及自動車の號笛が警報サイレンを消し去つた。

廣東に於ては空襲警報は全市を通じてなく明瞭に聞き得るに於てはサイレンの咆りは恐しかつた。然るに香港に於ては音調は粗雑であり微弱であつた。如何にもあれ空襲警報は非常の場

タイフーン用紙

合に備へて完全でなければならぬ。植民地多数支那人は香港植民地防空施設は警報サイレンの結果に依り判断される如く未だ試験的段階を出でないと信ずる傾向がある。

次に廣東及兩西支那各地の民衆一般の關心は香港の郵便局の能率の程度である。例へばロシヤ汽船エムプレス・オブ・エーシヤ號は九月二十二日午前八時に香港に到着した。しかし該定期船積載の第一種郵便物は次の朝即ち該汽船の到着後二十六時後に至り始めて配達された。低地の若干の大商店のみ午後遅く若干の手紙を受取つた。新聞紙其の他第二種物件はその次の夕方即ちエムプレス號の入港後三十四時間にして配達された。理由は同日には加奈陀定期船が多量の郵便物を賣し、西比利亞郵便物も亦同日に到着した爲である。郵便局員は全部の入港郵便物を處理する爲め居残り勤務をなして居ると云はれる。廣東、嶺山、梧州其の他各地は外國郵便物の發送は香港に依頼する。然るに外國郵便物は香

臺灣總督官房外事課

港に於ける難滞のため遲着する。香港の支那及極東に於ける商業上、航空上、政治上、海運上の中心地としての重要性に伴ひ水道空襲警報、及郵便業務の改善のために何等か迅速に手段が取られねばならぬ。

(一〇・三一〇・D・B)

二、日本の對フランス抗議は海南島占領の口實なり

華盛頓十月三十日ユナイテッド・プレス通信—華盛頓スター紙は本日の紙上に於てフランスの國民政府が對する日本政府の抗議に關し注意を喚起し、日本は抗議の假面のもとに廣東省の軍略上の要地にして資源の寶庫たる海南島占領の意圖を暴露するものなりとなして居る。

先週上海フランス總領事に對し手交された日本の抗議は佛領印度を通じての支那への武器の輸送に對する抗議であつた。海南島はその佛領印度支那に接近する軍事的地位よりしてフランスに取

タイプライター用紙

り極めて重要性を有する。英國も亦その新加坡及香港の兩海軍根
拠地の間に介在する海兩島の位置に鑑みてその重要性を認めてゐ
る。

佛領印度支那を通じて行はるる武器の輸送は雲南鐵道により西
南支那に於ける支那軍隊中央部に到達するのであり、海兩島は日
本軍の雲南鐵道切斷を可能ならしめる優秀なる空軍根據地となる
が故に日本の海兩島に對する欲求は垂懸措く能はざるところであ
る。日本の海兩島占領はフランス帝國の極端に貴重なる部分佛領
印度支那を完全に日本の支配下に置くこととならう。

東亞に於ける政治的、經濟的保護者たらんとする日本の支配力
は印度支那並に香港の日本への屈服を要求し、英國及フランスは
遂にこの日本の要求に直面しつつかある。

(一一一、一IN・O・D・M)

臺灣總督官房外事課

三、蔣方震の日本論

「戦争に勝つても宜し、平和になつても宜し、但し彼日本とは
講和すべきでない」とは蔣百里（方震）先生が、其の近著「日本
人——外國人としての研究」に於て最後のページに述べた一句で
ある。思ふに、此の一書は僅かに四十五頁しかないが、日本人の
性格、日本の軍學、政治、經濟、外交、文化及思想とに對しては
あますところがなく痛快な筆致、輕快な文章を以て、極めて鋭敏
な批評を下してあつた筈である。

日本國內の人種は、概ね兩方面より移住したものである。「彼
日本は東亞の英國と自ら認めつつあるも、惜しい哉倫敦に見るが
如き勝がない。彼等日本人は大陸政策を行はむとするも、支那の
黄河及揚子江に見るが如き大河巨川を持合はせない。彼等日本人
は國柄既に、性急な氣質に育てられ、容易に悲觀するの性格を有
するのである」とは、蔣先生が本書開卷の第一頁に於て日本人に

タイプライター用紙

對する觀察である。方震先生は又、進んで魚、酒、及音楽等を引用し、比喩したのである。即ち「魚は新鮮でなければ之を口にすべきでない。日本人はピンピンとして生きる魚を調理して食べるが、どうも「其の聲を聞けば其の肉を食べるに忍びない」とか真正の君子は、厨房から遠ざかる」等の意義を解しないらしい。彼等日本人の殘忍性は、依然何處かに保有され、彼等には、今でも人が人を喰ふの遺傳性が看取される。」と。

次に酒に至つては、「酒を多量に飲む事は、日本人は却つて之を豪傑の象徴と考へてゐるらしい。所謂「死は決して惧れない。酒は之なきを恐れる。」との類であらう。」方震先生は更に彼等の音楽を説いて曰く、「若し諸君が紅盤綠酒の席中に、彼等の三味線を聞けば、諸君は激烈な興奮を感じると同時に、悲愁此の上ない音色に接することが出来るであらう。」と。支那では、琴絃の音が高すぎて、切れる場合は之を不祥の前兆とする。

臺灣總督官房外事課

する。若し支那の琴を日本の三味線式に流へば絃は必らず切れるのである。

日本人の焦躁、偏狹及横暴は、同時に其の熱情勇氣及強悍を意味するとか、「花は櫻、人は武士」とは日本人の古來言觸らされた美辭麗句である。蔣先生は之に對し却つて「櫻花の最も奇麗な時は、丁度其の凋落に近い頃である。而して武士の最も榮譽な時は、恰も陣中に絶命せむとする頃である。其の勇敢は稱讚に値ひするだらうが、然し何となく悲しい場面である云々」と。

(一〇・一一一新聞日報)

四、日本が支那法幣の信用失墜を策動し白銀巨額の國外流出を宣傳する

昨二十日當地の各日刊新聞は、期せずして一齊に「日本が此の度支那の領土内より一億米國幣に相當する、巨額の白銀を奪

取した。一てう一毎を發表したが上海各界の人士は誰も、本當だとは信じなかつた様である。同日當り金融界の有力者某は往訪の記者に對し、右に關する解説的の談話を發表すると云ふがあつたが、之に據れば「日本側が支那の白銀を奪取輸出したとの一事は、聊か想像的記事たるの嫌がある。蓋し日本は元來銀本位國ではない。縱令斯かる事實があるとしても、支那から動員し得る白銀は日本の圓貨で精々二億圓位であつて之は米圓弗の五千六百萬餘弗に過ぎない。故に一億米圓弗を奪取し輸出したとは、全く思へない。元來北支方面に選藏せる白銀は精々六千萬圓程度である。故に縱令日本が此の白銀全部を輸出し得たとしても、タカが米圓弗の一千八百萬弗である。又其の他の被占據地域に於て、日本に奪取された白銀があるとしても其の金額は決して多くはなからう。蓋し支那領土内の金銀は、大部分既に、支那政府の掌中に集中された筈であるから、日本

臺灣總督官房外事課

軍の奪取し得る額は幾許もない。其の上日本軍としては之を奪取しても、斷じて本國內に蓄し、政府に獻納するが如きへまはやらぬと思はれる。故に其の奪取した白銀は、恐らくは今でも之を天津等に隠匿するだけの事である。思ふに此の種ニユースは日本側の宣傳作用が多分に含まれてゐるであらう。彼日本は之に依つて支那法幣の信用を動搖させたいのである。此の點は支那の貨幣乃至金融現況を、多少なりとも、知悉するものなら必らず直に理解出来る代物である云々と。

(一〇、二一一華美晨報)

五、支那國民黨の中央執行委員會「廣東全省の黨員に告ぐるの書」を發表

(重慶電報)「支那國民黨の中央執行委員會は、最近「廣東省の黨員に告ぐるの書」を發表したが、其の要領左の通りで

「廣東全省の黨員諸君よ、敵軍は武漢を攻略する時、既に幾度も失敗を演じた。然るに今般又増兵し、大舉華南を侵犯した。我が軍は決戦よく抵抗したが、之は即ち將兵には孰れも、強敵を覆滅しなければ承知せぬ氣概があつたからである。敵軍は此の度多くもない兵員を以て突然廣東を侵犯したが、其の底意は明らかに戦野の即決を求めたいが爲である。然れども、其の結果としては、必ず最も頑強な抗戦に遭遇し、最も重大な失敗に陥るであらうと信ずる。我が廣東省三千五百萬の同胞は、夙に革命運動上の薰陶を受け、最も民族意識に富み、平素は團結の固いこと、並に民氣の勇ましいこと支那全國に冠絶するのである。故に今日の如き國家危局に際しては、奮起邁進し、天賦の革命的精神を發揮し、よく敵軍と死闘して故郷を保衛することであら

臺灣總督官房外事課

う、思ふに敵軍は事以來戦區の擴大に依つて國力の消耗が益々甚しきを加へて来たから、最後は必らず失敗する。唯だ我が廣東全省の同志としては、よく此の重大危機を認識し、邦家の爲よく奮闘せねばならぬ責務がある。抑々廣東は我が國革命運動の策源地であり、發祥地であり、且又支那國民黨誕生の地であることを認識せねばならぬ。思ふに此の度の對日沈戦は、支那革命途上の第二期に於て、必ず経過せねばならぬ階梯であるから、吾人はよく發奮の遺教を奉じ、支那獨立の爲に奮闘しなければならぬ。此の種天職を與へられた吾人には、決して無爲傍觀の態度が許されない。殊に我が廣東省同志は格別に革命黨員としての責任を負はねばならぬ。即ち諸君は須く前仆後繼の犠牲的精神を體し、何處迄も敵人を追跡打倒することにして欲しい。斯くして我等全員は、爰十年來光輝ある革命の史蹟

を、協力して守ることにしたい。諸君は之と同時に奮起し、全省の民衆をリードして、中央の軍事工作に協力し、聖戦の目的達成に貢献して欲しい。故に歴戦省内の我が黨同志並に全省同胞は必らず卒先奮闘し、總理の遺訓に恥しくない様に努力して貰ひたい。吾人は今でも、深く信ずる。若し吾人が一致して抗戦すれば必らず敵國の侵略を排除し、敵軍をして不逞の進攻を断念せしめることが出来る。斯くすれば我が邦の抗戦建國は、結局に於て成功するものであることを云々と。

(一〇、一七一華美農報)

六、上海より西甯各省に輸送される貨物は

概ね通路を閩浙兩省に改める

兩支戰線の勃發以來、上海より廣州に至る沿岸航路は、愈々中止を余儀なくされ、従つて其の西甯各省へ向け、輸送される貨

臺灣總督官房外事課

物は、現下概ね其の通路を、閩浙兩省の諸港灣に改めたので、上海と閩浙各地との貨物輸送は急に、著るしく殷盛を加へるに至つた。蓋し最近一面には、漢口廣州間、及漢口寧波及温州間の水陸輸送聯絡が實行され、他面閩浙航路には、尠なからず航船舶が増加したのである。

水陸輸送の聯絡實施—支那政府當局は、尠く既に漢口廣州間の貨物輸送聯絡を實施したが、最近又奧地物資の輸送並に日常必需品の供給に便利を與へたい見地から、漢口寧波及温州間の水陸貨物聯運を實施した。即ち漢口より寧波に至り、同地に於て浙贛鐵道の金華驛と聯絡し、更に金華驛に依つて麗水に至り、同地にて舟運と聯絡して温州に至るか、或は金華驛より金華公路に依つて寧波に至るか、の兩コースがある。或に上海より西甯各省に輸送される貨物は、今でも杜絶することがない。

閩浙航路の配船増加—閩浙兩省の諸港灣は今般外國汽船の出入

タイプライター用紙

を見て以來、貨客の積卸しが漸次旺盛を加へるに至つた。又航路の配船も殖えて來たが、主なラインの配船としては、(一)浙江省の東部寧波温州及海門間に就航するものは、思德號以下十八隻、(二)福建省福州興化及泉州間を航行するものは神佑號以下十隻である。

(一〇、一七一華美晨報)

七、廣九鐵道が縱令遮断されても

兵器彈藥の仕入先には心配がない

(重慶通信) 一、支那側陸軍當局の最近聲明に據れば、敵軍が廣九鐵道の交通を遮断しても、支那側の兵器及彈藥を仕入れる経路を、切斷することが出来ない。蓋し支那の西南及西北諸省としては、依然交通路を保有するからである。而も兵糧、武器、彈藥及被服の關する限りは、支那政府は夙に之を準備してあるから、今のところ全然缺乏の惧がない。元來兵器及彈藥の貯蔵は

臺灣總督官房外事課

敵軍の重大秘密に屬し、到底局外者の推察を許さないが、前記の通の說に據れば、支那は既往の對日第一期抗戰期間に於ては、如何に毒變前貯蔵の武器及彈藥を使用した切り毒變後仕入れたものには、未だ全然手を觸れて居ない。故に、縱令廣東全省が敵軍に攻略されても、支那としては新設、又は改良の輿地公路に依つて諸外國との交通を維持することが出来る。即ち雲南省の昆明より大理を経て英領緬甸に通ずる公路は、既に英國政府當局と適當な管理方法を以て決定したものである。又昆明より貴州省の貴陽を経て湖南省の長沙に至る公路は、一千百餘哩もあつて之は既に二年前に竣成し、最近又改良を加へたから、極申分かない。尙又廣西省の桂林龍州間公路は、最近愈々竣功したから、立派に佛領安南の鐵道と聯結することが出来る。之を要するに貴州省の貴陽は目下西南支那交通の樞軸であつて、即ち北は四川省の重慶に通じ南は廣西省の桂林に達すること、出

來るのである。翻つて西北支那の公路では陝西省の西安より蘭
 州及延化を経て新疆省の塔城に至るラインがあるが、之は最近
 急遽修理を加へたので著しく良くなつて來た。是等公路には殆
 んど毎日蘇聯乃至米國の特大號トラックが來往しつゝあるが、
 交通部では現下西安と甘肅乃至新疆省邊境との區間に、長距離
 バスを走らせつゝあるから此の方面の交通確保は折紙づきであ
 る。即ち支那は北及西兩方面の執れにも立派な外國との交通線
 路を有してゐるから、廣九乃至粵漢鐵道の遮断又は破壞將又廣
 東全省の失守は左して問題ではない云々と。

（一〇、一六一 專 載）

臺灣總督官房外事課

タイフンイター用紙

佛領印度支那

一、佛印經由に依る武器輸送徑路

(一) 廣西への徑路

海防より紅河の支流に依り PHU LANG THONG に至り一九月初旬シャルデヨール汽船カツブアラ號四千八百噸が輸入せる武器は此處に陸揚げされたり一之より鐵道に依り NACHAM に至り NACHAM より廣西の河川松吉河に依り輸送する場合及海防よりジャンクにて Fien Yen に至り一九月初旬彈藥を補設せるトラック故郷向地より發送されたる事實あり一之よりトラックにて藤山登向經由輸送せらるる場合あり。

(二) 雲南への徑路

全く慣越鐵道に依るの外なる公路の開通なし。佛印よりの武器輸送は本鐵道に依るもの最も多し。

臺灣總督官房外事課

(三) 廣東への徑路

海防にて積換の上汽船又はジャンクにて地海、海口、廣州灣或は國塩芝街を經由す。(常部着實録)

二、佛印の支那援助

佛領印度支那が今次華變に關し支那側に對し重大援助を與へつつあるは蔽ふべからざる事實なるが、其の重なるものは武器輸送の外支那側の武器購入資金缺乏し困難を極めつつある處海防に於ける武器賣込業者に付調査するに支那側は今年五月頃以來特に武器代金支拂遅延し來れるを以て賣手側は河渉しを肯ぜざりしか、最近來六月下旬巴里に於て設立せられたる南支那投資會社(正確なる名稱不明)が佛國武器商に對し支那側へ賣渡したる武器代金の一時的保證を爲すことに依り解決せらるること屢々にして同會社は佛國殖民大臣の肝入りにて組織せられ、前佛印總督も同社の

重要職員となり居り佛國の國策會社なりと認めらるる趣なり。
 又佛印に於ては六月中旬より三千三百萬比弗の五分利附國防公債を發行し七月二日締切り迄に一千四百萬比弗を得殘額は本國政府に於て引受けたるが之が募集に當りては華僑に對しては半強制的に行はれたる事實あり、右に付いても二萬人の新徵兵及多少の要塞建築に使用せる外、對支援助資金なりと觀測する向あり。
 斯る佛國側の對支援助に關して支那側が如何なる代償を與へたりや、又は與へんとするやは不明なるが(イ)パラセル群島は支那側と話合の上占據せる事實(ロ)廣西鐵道(目下兩率迄開業中)は佛國側借款に基くものなりとの諜報等より此等及海南島等の重大利權に關聯するものなるやに察せらる。
 (當部着資料)

臺灣總督官房外事課